

# 「科学雑誌で学ぶ日本語Ⅱ」作文練習 06

木下大輔

2022年03月23日

## 1 第一問

「このままでは過去の大量絶滅に匹敵するほどの生物が姿を消してしまうこともありそうに思える。」という文がありました。「…動詞 + そう…」を含む文を作りなさい。

## 2 第二問

「一般的に、安定した生態系では生物の急速な進化や種の多様化は生じにくい。」という文がありました。「…動詞 + にくい…」を含む文を作りなさい。

## 3 第三問

「対策を講じなければ絶滅のスピードはさらに速まるといい、22世紀までに哺乳類の23%、鳥類の12%、両生類の32%が姿を消すおそれがあると指摘されている。」という文がありました。「…動詞 + なければ…」を含む文を作りなさい。

## 4 第四問

「私たちが知らない種もたくさんいたはずですから何%が絶滅したのかはわかりませんが、圧倒的に大規模な大量絶滅だったことは間違いありません。」という文がありました。「…間違いのない…」を含む文を作りなさい。

## 5 第五問

「その過程で、もともと大陸と大陸の間にあった海のプレートがパンゲアの地下に次々と沈みこんだ。」という文がありました。「…次々と…」を含む文を作りなさい。

## 6 第六問

「この解釈はまだ完全に証明されたわけではなく、さらなる検証が必要だ。」という文がありました。「…わけではない…」を含む文を作りなさい。

## 7 第七問

「なお、この大量絶滅は5回の中で最も小規模だったほか、長期間にわたって少しずつ絶滅が進んだとみられており、ほかの大量絶滅とはやや性質がことなるという指摘もある。」という文がありました。「…少しずつ…」を含む文を作りなさい。

## 8 第八問

「この大絶滅を含めて、地球上ではこれまでに少なくとも5回の大規模な大量絶滅がおきたと考えられている。」という文がありました。「…少なくとも…」を含む文を作りなさい。

## 9 第九問

「人間の活動が自然の生物にとって大きな脅威となっているのは疑いの余地がない。」という文がありました。「…余地がない」を含む文を作りなさい。

## 10 第十問

「そのことを考えれば、5回の大量絶滅があった顕生代は地球の長い歴史のごく一部にすぎないといえる。」という文がありました。「…にすぎない…」を含む文を作りなさい。

## 11 第十一問

「ただ、地球全体に大きな影響をあたえたのならかなり大きな火山だったはずだが、それが世界のどこにあったのかはわかっていない。」という文がありました。「…はず…」を含む文を作りなさい。